

「第94回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

➤開催日時：令和7年6月11日（水） 14時00分～15時19分

➤出席人数：会場9人（欠席10人） 傍聴：なし

（公共交通課長から）

- ・デマンド型交通の実証実験が終了したので、明日（6月12日）理事者へ説明する。今後の進め方については今日の会議で声をいただき、それを理事者に伝える。
- ・さらに、6月13日金曜日は議会に対しても説明する。今回のデマンド型交通の実証実験については、地元の議員に限らず、多くの議員に注目されている。

1 乗合タクシー実証実験運行の乗車実績について

＜利用実績について＞

（公共交通課から説明）

- ・237日間で1,385人の乗車があり、1日平均では5.8人。ただし、最終月は10.8人まで増えているので、説明する際にはこの数値を強調していく。
- ・資料2-①について、1日の平均乗車人数を示した表があるが、エリア統合後は、10人を超える状況が続いている。当初エリアを2つに分けていたことが失敗ということではなく、状況を見ながら色々な意見を聞いて、臨機応変に対応したことで改善されたということ。
- ・資料2-②について、エリア統合前と統合後の移動の状況について示した図。エリア統合後は西武国分寺線を超えて東西に動きが出てきた。また、エリア統合によって、旧エリア内の動きも活発化している。
- ・エリア統合によって乗合タクシーを目にする機会が増え、宣伝効果も上がったと思われる。
- ・10歳未満の利用としては、塾通いと思われる利用が多くみられる。
- ・60代、70代、80代以上の利用については、中央公民館、小川公民館、地域センターなどにおける地域活動のための利用が多いと思われる。
- ・利用人数としては1人での利用が多い。
- ・利用の多かった乗降場所を見てみると、ニーズ調査で確認していたとおり、地域センター、公民館、鉄道駅に隣接する乗降場所が多く、狙い通りの結果となっている。
- ・病院については、南台病院の乗降が多かったが、これが病院へ行く人の利用か、隣接するマンションの利用者か、判断はできていない。
- ・一度も利用されなかった乗降場所が意外に多かった。利用が無かったから悪いということではなく、実証実験におけるデータを通して見えてくることもある。

（参加者から）

- ・南台病院の乗降場所の利用について、統合前は南台病院の通院がほとんどだが、統合後は、南台病院の通院とマンション住民の利用が半々程度と思われる。
- ・四小通り沿いの乗降場所の利用が無いのは、にじバスを利用しているからではないか。

＜利用登録者の状況について＞

(公共交通課から説明)

- ・利用登録者の状況をみると、最終的な登録者数は831人で、10歳未満も17人いるが、多いのは40代以降で、80歳以上は200人を超え、全体の25%ほど。
- ・実際の利用回数をみると、「利用なし」が632人。登録はしたが利用しなかった人が多くいたという結果となっている。
- ・一方でリピーターと言える利用者も一定数おり、便利だと思っている人もいることを表している。
- ・「年齢階層からみた利用回数の状況」を見てみると、40代、50代は「利用なし」の割合が80%を超えている。
- ・今回の乗合タクシーを開始するにあたり、まずは知ってもらうこと、そして登録してもらうことに力を入れてやってきた。皆さんの協力で登録数は増えたが、利用したい時間に運行していないなどの理由からか、登録しただけで終わってしまった人も多かったのではないかな。

＜意見交換＞

- ・コミュニティタクシーの実証実験の際には走ることができなかった玉川上水の南側地域にたくさん乗降場所を設置してもらったが、利用状況の図を見ると利用は少なかった。エリア統合後は小川町地域の利用がすごく増えており、玉川上水の南側は取り残されてしまったような感じ。

自分は3回利用しようとしたが、先に別の予約が入っていて利用できなかった。予約が取れて、300円で利用できるということで喜んでいる人がいる反面、先に利用者がいて利用できない人もいる。

(小平交通) エリアを統合したことで乗車する距離が伸びて、運行時間が長くなった。これをAIが判断して運行スケジュールを決めているため、仕方がないことでもある。決まった時間に間に合うように利用したい場合は早めに予約する必要がある。

- ・利用した人が少なかったことは使いたいのに使えなかった人が多くいたということで、大事な点。これを解消すれば利用がもっと増える可能性はあるが、1台で運行する場合、これが限界と思われる。

今後のことを考えた場合、今回のコストがどうであったのか、一人当たりの移動コストがいくらだったのか。にじバスと比べた場合、おそらく10倍、20倍になると思われるが、実施方法を工夫すれば、にじバスへの補助金程度まで経費を下げられるのではないかな。

今回のことは決して失敗ということではなく、潜在的な需要がどこにあったのか、少し見えてきた。そこで、市として交通弱者のベネフィットをどう考えるかということになる。

(公共交通課) 上水本町地域については、潜在的な需要はあった。乗降場所としては利用が無かったが、それ以上のことが見えてきたということをこの会議の中でまとめ、バス事業者などで構成する地域公共交通会議へも投げかけて、今年の9月から10月頃には報告書としてまとめ、

市のホームページなどで公表していく予定。最初の切り口として、潜在的な需要、ゼロが必ずしもゼロではないということ。乗りたくても乗れなかったという状況だったことが見えてきた。

- ・1人で乗っていることがすごいロス。自分の時間に合わせて乗るというよりも、運行時間に合わせて動くという行動の変化もこの結果から出てくる。

- ・1月20日のエリア統合によって利用した人がかなり増えたということをしつかり報告してもらいたい。利用者の利用実態をしつかり把握することが次へのステップになる。

- ・登録者のうち632人が利用しなかったことについて、スマホでの予約がとても難しかったということがあると思う。

エリアを統合したことで毎日利用できるようになり、通院等の日程に合致したといったことも利用の増につながっていると思う。当初は運行エリアを分ける方が良いという判断であったが、結果としてそれは間違っていた。

- ・利用しなかった人に聞いたところ、「まだ自転車に乗れるから」と言っていた。「そのうち必要になるが、今は必要ない」という人が登録者に多かったようだ。

登録するということはハードルが高い。定時・定路線で運行していれば気軽に利用できるが、乗合タクシーは登録をしなければならない。登録している人の中には電話予約することが手間で見なかった人もいた。

一方で、利用した人にとっては300円で利用できて便利ということでリピートしている。利用者が増えたことで、時間が合わずに乗れなかった人も大勢いるのではないかな。

- ・コミュニティタクシーのように定時・定路線で周っていれば予約することなく乗車できる。市としては予算の制約もあると思うが、住民のためを思えば、南西部地域は地域交通が無いので考えてもらいたい。エリアを統合したことで皆さん本当に喜んで利用している。今回の実証実験は終わってしまったが、このまま終わらせるわけにはいけないので、次に向けて協議を続けていきたい。

- ・登録した人は乗りたいと思って登録しているが、実際に乗れなかった人が多かった。この点を強調していただきたい。

- ・ポイントは予約のやり方。イライラしなくても予約が取れたとか、予定が分かっている場合は早めに予約を入れておくとよいなど、そういった情報を出していく。段取りよく利用している人もいる。

(公共交通課) エリアを統合したことで利用者が伸びたこと、潜在需要があったことはしつかり伝えていきたい。システムの課題、電話オペレーターの課題なども出ていた。

今後は後追い調査をどこかでやっていく。次のステップに向けて、使い勝手の良かった点、

あるいは悪い点はどこかなど、声を拾っていく。そういったことを含めて9月か10月か、一つの方向性、この地域の新しい公共交通のあり方を打ち出せればと思う。これで終わりではないと思っている。今回の実証実験の結果は今後への財産となる。

2 乗合タクシー実証実験運行終了後の考える会の進め方について

(公共交通課から説明)

- ・ 次回の会議は7月9日に開催予定。次回に向けてのお願いとして、①周りの人で乗っていた人の声、②登録しているけど乗らなかった、あるいは乗れなかった人の声、③乗合タクシーを知らなかった人の声、を集めていただければと思う。

もう一つ、次にどのような手を打てるのかを考えるために、他の地域で実施している新しい地域公共交通の情報などがあれば教えていただきたい。皆さんの負担にならない範囲で結構なので。例えば、世田谷区ではゴルフカートを活用した移動手段をやっているという情報もある。

(参加者から) 利用者の声ということでは、以前、運行事業者からドタキャンがあるといった話もあった。

→公共交通課) ドタキャンだけでなく、同じ人が保険として3つも4つも予約を入れるといったこともあった。次に実施する際は、そういったことに対して何らかの対策が必要となる。

3 バスとタクシーのひろば in 小平 2025 の開催報告

(公共交通課から情報提供)

- ・ 今年是新東京自動車教習所での開催となった。
- ・ 当日は3千800人程度の来場があり大盛況だった。
- ・ 内容としては、教習所の敷地を活用したボンネットバスの乗車体験、バイクのデモンストレーションなどを行った。例年のものとしては、バスとつな引きやバスぷら博士、コミタクにお絵描き、キャラクターと遊ぼうなど、毎年好評をいただいているイベントも実施している。
- ・ 来年はブリヂストンイノベーションギャラリーの駐車場で開催予定。

【配布資料】

- ・ 資料1 小平南西部地域乗合タクシー実証実験運行の乗車実績
- ・ 資料2-① 南西部地域デマンド型交通（乗合タクシー）実績結果について
- ・ 資料2-② デマンド型交通（乗合タクシー）移動状況
- ・ 資料3 バスとタクシーのひろば in 小平 2025（開催報告）
- ・ 「第93回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告